

知床の窓から見えるもの

2020年9月28日（月曜日）

釧路在住、現在羅臼に出向中の臨床工学技士。

8月、ついにあのシーズンがやってきた。

カラフト、アキアジ釣りである。

早速仕掛けを買いに釣具店へ。

そこにはもう専用の仕掛けがずらり。

釧路ではニジマス、アメマス釣っていたがカラフト、アキアジは初めて。

何がいいかさっぱり（苦笑）

店内を見渡し店員さんに声をかける。

「すみません、カラフト、アキアジ始めたいのですが・・・」

店員さんは快く教えてくれて

「仕掛けはこれと、これで。」「竿はこれがいいかな？」

竿は持っていると言えと

「その竿だと、大きいの（アキアジ）当たったら折れちゃうよ」とのこと。

結局、一式購入（竿、リール、仕掛け）。

出費が・・・（泣）

さっそく休みの日、知り合いの患者さんに釣り場を教えてもらい fishing 開始。

1時間・・・2時間・・・3時間・・・、当たりはあるが小さいメバルが数匹。

暗くなってきたので撤退。（なんか熊出てきそうで怖い・・・）

「初めてだし、釣れないときもあるか」

と、気を取り直して次の休みの日

ついに HIT！

しかし波打ち際で暴れだし、バレてしまう（悲）。大きさ的にはカラフトかな。

釣りの達人に聞くと

「糸は張っておき、下がりながら寄せてくる波のタイミングで砂浜にあげるといいよ」と。

そしてまた次の休みの日。

ついにその日がやってきた。

背中はせり上がり、口は先端が伸びて湾曲している。オスのカラフトマス。

釣り上げた興奮、感覚は、今でも鮮明に覚えている。

ただ、釣った魚どうしよう・・・。

魚捌けないし・・・。

結局、知り合いの看護師さんにもらってもらうことに（笑）

次は、アキアジを！と意気込む今日この頃。

